

「ICTイノベーションセミナー2021 in 東海」を開催

＜戦略的情報通信研究開発推進事業の成果発表とNICTの研究開発支援＞

東海総合通信局(局長 長塩 義樹(ながしお よしき))は令和3年12月3日、東海情報通信懇談会(会長 岩田 彰(いわた あきら)名古屋工業大学名誉教授)及び国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)(理事長 徳田 英幸(とくだ ひでゆき))との共催で、名古屋工業大学4号館ホールにおいて「ICTイノベーションセミナー2021 in 東海」を開催しました。本セミナーには、研究者や大学の産学官連携部門、企業等から会場60名、オンライン配信160名の計220名の参加がありました。



会場の様子

冒頭、長塩局長と東海情報通信懇談会片山電波部会長(名古屋大学教授)の挨拶に続き、総務省の荻原電波政策課長、NICTの吉田総務部長から特別講演が行われました。その後、戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の令和2年度終了課題について、研究成果6件の発表が行われ、NICTの地域連携・社会実装に向けた活動が紹介されました。セミナー終了後には、研究者を対象とした個別相談会を開催し、総務省やNICTの委託研究に対する意見交換とSCOPEの応募に向けた留意点などについて説明を行いました。

お問合せ先 : 電波利用企画課 052-971-9143

特別講演

- 「電波政策の動向と電波資源拡大のための研究開発」 総合通信基盤局 電波政策課長 荻原 直彦
- 「NICTの最近の取組みについて」 情報通信研究機構 総務部長 吉田 正彦

SCOPE成果発表 (令和2年度終了課題)

- 微弱無線周波数帯を活用した体内深部まで高速・高信頼で通信可能な医用インプラント通信機の研究開発
名古屋工業大学大学院工学研究科 教授 王 建青
- 高信頼・低消費電力・電波有効利用バイオメディカルIoTの実現に向けたパッシブ型人体通信技術の開発
名古屋大学大学院工学研究科 准教授 新津 葵一
- インプラント機器の高精度制御を実現する超広帯域微弱無線による位置推定法の開発
名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授 安在 大祐
- 無線-光信号変換素子を用いたセンサモジュールの研究開発
三重大学大学院工学研究科 教授 村田 博司
- IoTに基づく潜在的社会ニーズの推定と柔軟なサービス需給交換基盤の研究開発
名古屋大学大学院工学研究科 教授 河口 信夫
(発表者) 名古屋大学大学院工学研究科 准教授 米澤 拓郎
- 異種データを用いた浸水予測の時空間解析手法の研究開発
京都大学防災研究所附属巨大災害研究センター 准教授 廣井 慧

NICTの地域連携・社会実装に向けた活動のご案内

- NICTの社会課題や地域課題解決への取り組み
NICTオープンイノベーション推進本部 ソーシャルイノベーションユニット 戦略的プログラムオフィス オフィス長 西 永 望
- 製造現場の無線化の課題の取り組み～SRF無線プラットフォームの社会展開～
NICTオープンイノベーション推進本部 戦略的プログラムオフィス イノベーションプロデューサー 佐藤 慎一
- 山間過疎地を対象とした高齢者向け屋内外包括見守りシステムに関する研究開発
名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授 大塚 孝信



王教授



新津准教授

※SCOPE研究開発奨励賞を受賞



安在准教授



村田教授



米津准教授



廣井准教授(リモートで講演)